



## 夜久野学園開園式典 (平成25年4月14日) 小中一貫校として新たなスタート!



新たに制定された小中学校共通の校歌

### 主な内容

3月定例会市議会の概要	2~4
代表質問(7人が登壇)	5~8
意見書・議会日誌	9
予算審査特別委員会の審査報告	10~12
議員別議案賛否一覧表	13
常任委員会の審査報告	14~15
各委員会の活動報告	16~17
議員報酬等検討委員会・広報広聴に関する検討委員会	18
平成24年度政務調査費収支報告	19
元気やで福知山! 「丹波福知山手作り甲冑隊」	20

# 予算を可決!!

## 3企業会計と合わせ、総額794億1131万円~ する国庫負担率の引き上げを求める意見書」を国へ提出!

(意見書:P9)

### 3月定例会市議会の概要

2月26日から3月26日までの29日間にわたって3月定例会を開催しました。この議会では平成25年度一般会計予算など68議案が上程されました。その内、平成25年度予算関係33議案については、予算審査特別委員会を6日間開催し、各常任委員会の所管に関する事項、総括質疑などの審査を行いました。また当初予算関係以外の16議案と平成24年度一般会計補正予算など19議案の35議案については、各常任委員会での審査を経て、いずれも原案どおり可決しました。人事議案では、福知山市副市長、監査委員、教育委員、人権擁護委員について同意しました。

このほか議員提案議案として、福知山市議会会議規則、福知山市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正したほか、意見書1件を可決し国等の関係機関に送付しました。

また、3月6日、7日の2日間にわたり一般質問を行い、会派代表による7人の議員が登壇し、市政を質しました。

なお、継続して審査していた請願2件は、いずれも不採択としました。

#### 平成25年度関係分

##### ▽当初予算

一般会計で399億円、特別会計（15会計）214億3887万2000円、企業会計（3会計）180億7244万4000円、全会計の予算総額は794億1131万6000円となりました。

また、一般会計当初予算は平成24年度当初予算と比較すると22億1000万円（5.9%）の大幅増額となりました。（※平成24年度当初予算は骨格型予算であったため）

##### ▽条例関係

「福知山市営住宅等の整備の基準に関する条例」など8条例を新規制定、「福知山市事務分掌条例」など19条例を改正しました。

##### ▽その他

- 訴えの提起（裁判上の和解を含む。）
- 辺地総合整備計画の変更
- 過疎地域自立促進市町村計画の変更

#### 平成24年度関係分

##### ▽補正予算

一般会計で25億7974万円の増額補正を、特別会計（国民健康保険事業特別会計他2会計）では9172万5000円の増額補正、企業会計（病院事業・国民健康保険新大江病院事業）で395万7000円の減額補正を行い、補正後の全会計の予算総額は886億5429万1000円となりました。

# 3月 定例 市議会

# 平成25年度福知山市当初 ～一般会計399億円、15特別会計、 国保事業健全運営のため「国民健康保険に対

## ▽条例関係

「福知山市新型インフルエンザ等対策本部条例」を新規制定、「福知山市実費弁償条例」など2条例を一部改正、「福知山市へき地保育所条例」など2条例を廃止しました。

## ▽その他

- 工事請負契約の締結（1件）
- 物品の取得（1件）
- 財産の無償譲渡（1件）
- 町の区域及び名称の変更
- 市道の認定及び廃止並びに路線変更
- 専決処分の承認

## ▽報告

- 訴えの提起（裁判上の和解を含む。）

## ◆人事議案

- 副市長  
伊東 尚規さん（京都市西京区 59歳・新任）
- 監査委員  
芦田 芳樹さん（新庄 66歳・再任）
- 教育委員  
塩見佳扶子さん（市寺 60歳・新任）
- 人権擁護委員  
矢野 利生さん（野花 65歳・再任）
- 人権擁護委員  
松下 眞二さん（三和町芦洲 65歳・新任）
- 人権擁護委員  
竹下香代子さん（平野町 59歳・新任）

（※住所、年齢は平成25年3月26日現在）

## ◆議員提案議案

- 福知山市議会会議規則の一部改正
- 福知山市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正
- 国民健康保険に対する国庫負担率の引き上げを求める意見書
- 選挙管理委員  
足立 隆夫さん（口榎原 65歳・新任）
- 選挙管理委員  
氷上 正喜さん（夜久野町大油子 64歳・新任）
- 選挙管理委員  
松本 良彦さん（報恩寺 73歳・新任）
- 選挙管理委員  
渡邊 継雄さん（本堀 74歳・新任）
- 選挙管理委員補充員  
竹下 一正さん（上篠尾一区 72歳・新任）
- 選挙管理委員補充員  
森 孝道さん（岡ノ二町 70歳・再任）
- 選挙管理委員補充員  
水谷 正久さん（長田段 69歳・新任）
- 選挙管理委員補充員  
佐藤 巨弘さん（平野町 66歳・新任）

（※住所、年齢は平成25年3月26日現在）

## 3月定例会で可決した『平成25年度一般会計当初予算』のつかいみち(抜粋)

### I『ひと・まちの「絆を育む交流」予算

#### 1 自然との共生で災害に強い安心安全なまちづくり

- 地域防災計画整備 120万円
- 再生可能エネルギー活用調査 447万円

#### 2 個性が輝く未来あるまちづくり(オンリーワンの子育て環境づくり)

- 不妊治療費助成 731万円
- 民間保育所運営 2億6575万円
- 放課後児童クラブ運営 1億3617万円
- 小・中学校施設空調設備設置 2610万円

#### 3 改革進め府市協調で健全な行財政づくり

- (仮称)新まちづくり計画策定準備 258万円
- 市民提案アイデア募集 43万円
- 総合案内窓口運営 377万円

#### 4 雇用が進んでまちの活気づくり

- 里の駅みたけ産見守り弁当宅配 220万円
- 有害鳥獣処理施設整備 933万円
- 大原地区産屋周辺整備 1091万円
- 夜久野高原花回廊整備 70万円
- 大雲水辺の里づくり 20万円

#### 5 ふるさとでいつまでも幸せ実感 福祉と文化のまちづくり

- 市民病院救命救急棟建築ほか 109億8470万円
- (仮称)市民交流プラザふくちやま図書館システム・設備等整備 3865万円
- 敬老乗車券 1374万円
- 男女共同参画センター設立 20万円

### II『北近畿をリードする創造性あふれるまち実現プラン』

#### 1 市民協働でつくるコミュニティ豊かな自立したまち

- まちなか若者にぎわいプロジェクト推進 40万円
- 市有地販売促進 60万円

#### 2 定住と交流の活力あるまち

- 高校生定期乗車券補助 369万円
- 街路事業(多保市正明寺線 高畑工区) 1億1490万円
- 姉妹都市友好親善市民交流 107万円
- ふくちの農場づくり 2037万円
- 丹州材活用促進 250万円
- 企業誘致促進特別対策 5414万円
- スイーツフェスティバル 180万円
- ゆるキャラ資源徹底活用による福知山活性化支援 220万円

- 緊急雇用特別対策 1億1385万円

#### 3 人と自然が調和し、すこやかに安心して暮らせるまち

- 女性のためのがん検診推進 4846万円
- 介護人材確保対策 2081万円
- 福祉医療費(障害)給付 2億3468万円
- 民間保育所施設整備 1億530万円
- まちなみ環境整備 5000万円
- ごみ焼却施設基幹的設備改良 5億円
- めざせ!「救命の絆」世界一のまち 200万円

#### 4 明日を担う創造力あふれる人材育成のまち

- 桃映中学校北校舎改築 1億6078万円
- 小学校・中学校 学校図書整備 2000万円
- 佐藤八重子記念子ども読書活動振興 3025万円
- 佐藤太清記念美術館特別展 3080万円

(※予算額は万円止で記載)

## 3月定例会で可決した『平成24年度一般会計補正予算』のつかいみち(抜粋)

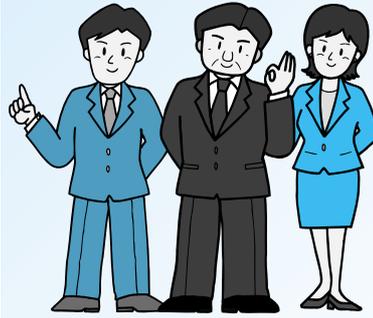
- 合併算定替減対策基金積立 6億9264万円
- KTR経営支援 7576万円
- 地方バス路線運行 5951万円
- 除雪関連事業 3903万円
- 急傾斜地崩壊対策 2205万円

- 佐藤八重子記念子ども読書活動  
振興基金積立 1億5000万円
- 一般管理費(職員人件費) 9111万円

(※予算額は万円止で記載)

3月定例市議会

ここが聞きたい！



代表質問

各会派から議員が質問に登壇！

●質問議員●

- 1. 日本共産党市会議員団 大槻 富美子 議員
- 2. 新政会 木戸 正隆 議員
- 3. 維新福知山 高橋 正樹 議員
- 4. 福知山未来の会 田中 法男 議員
- 5. 公明党市会議員団 足立 伸一 議員
- 6. 福政会 稲葉 民俊 議員
- 7. 希望の会 谷 垣和夫 議員

※所属会派は3月末現在

※この代表質問の掲載内容は、質問内容をもとに各議員が作成しています。



日本共産党市会議員団 大槻富美子 議員

生活保護基準引き下げの市民生活への影響は

生活扶助基準の引き下げによる影響はどうか。また、保護受給世帯だけでなく市民生活全般に影響が及ぶが、その対策は。

本年8月から3年間で

原発防災対策は50km圏に広げて

関西電力との安全協定の結論は。福島原発事故を教訓とするなら、原発対策は30km圏だけではなく、全市民を守る対策とすべきだ。

段階的に保護支給額が減額となり、子育て世帯の引き下げ幅が大きい。就学援助、国保料、保育料、介護保険料などへの影響があるが、大きな負担とならないように配慮する。(社会福祉課)



30km圏内にある 京都府放射線測定器 (舞鶴市立岡田上小学校内)

安全協定は府を窓口にする

国保料の値上げは中止を

国保加入の約8割が年収200万円未満の世帯だ。一人当たり年間平均5000円の値上げは市民を一層苦しめる。国保財政の危機の原因は国が国庫負担を削減したことにある。平成23年度は黒字決算だった。その一部を国保会計に繰り入

協議を進めているが、合意には至っていない。50km圏の防災対策は次年度以降に別途計画を進める。(市長)

TPPは地域経済に大きな打撃を きっぱり反対を

安倍首相は「なるべく早い段階で参加を決定したい」としている。TPPに

参加し農業を衰退させ、皆保険制度が壊され、自治体の官公需に外国企業が参入することがあってもいいのか。「市民をど真ん中」にする市政を進めるなら市民を守る立場から反対表明を行うべきだ。

参加し農業を衰退させ、皆保険制度が壊され、自治体の官公需に外国企業が参入することがあってもいいのか。「市民をど真ん中」にする市政を進めるなら市民を守る立場から反対表明を行うべきだ。



新 政 会  
木戸 正隆 議員

### 平成25年度施政方針と予算の基本的な考え方を問う

**問** 将来の世代に負担を残すことなく行財政構造の改革をどのように進めるか。

**答** 2万円の減となっている。減債基金・財政調整基金の取崩しを回避し、行政改革による成果を合併算定普通減対策基金に積み、基金残高は前年度比4億3000万円の増加となり、総額で100億円以上を確保できる見込みである。(市長公室)

### 合併から8年。3支所の名称や機能の見直しを問う

**問** 3支所機能のあり方も含めた周辺地域の振興と支所の名称や行政エリアの変更などについて問う。

**答** 支所の機能、役割、エリア、名称を含め、ゼロペーすでじっくりやりたい。旧3町だけでなく旧市域も含め、大きな支所の活性化に住民の声を提案してもらい施策化していきたい。(まちづくり推進課・三和・夜久野・大江各支所)

### アネックス京都三和の企業誘致の促進を図る施策は

**問** 企業誘致の推進と立地企業の設備投資を支援し、雇用を増大を図る施策は。

**答** 交通アクセスの利便性を宣伝すると共に新たに市の優遇制度の対象に物流関連施設、情報関連施設、研究施設を加え、企業誘致を進める。京都府に分譲促進の補助の大幅見直しと、拡充を強く要望している。(産業立地課)

### いじめ根絶とアンケートとの結果と対応策を問う

**問** アンケートによる、本年1954件の諸課題と対応策を問う。

**答** 生徒は学校だけでなく家庭や地域で多くの人と関わりを持ち生活している。学校教育のみならず保護者や地域の皆様にご理解ご協力いただき、いじめ問題の解消に努めたいと考える。(学校教育課)

### 合併算定替による市民生活の影響を最小限に抑える施策を問う

**問** 地方交付税減額19億4000万円による市民への影響を最小限に抑え、行財政改革と職員定数を前倒しし、行政内部経費などのスリム化を着実に進めてきた。この効果の実績と今後の諸課題を問う。

**答** 合併により拡大した行財政構造のスリム化を図るため、第4次行政改革において15億9000万円を削減した。第5次行政改革で11億2000万円の削減を目指し、改革により合併算定替に対応できる行財政基盤を構築する。(市長公室)



維新福知山  
高橋 正樹 議員

### 市側が一部敗訴した住民訴訟の裁判内容とは

**問** 今年1月に京都地裁で、債権放棄に関する住民訴訟の判決がでて、被告側である市幹部の一部敗訴が伝えられた。その内容とは。

**答** 本市では、平成21年4月に制定した福知山市債権管理条例に基づき、平成22年3月末に、徴収ができない債権を放棄したが、その中の貸付金や水道・ガス料金などの債権約1168万円について、回収を怠る事実があったとして損害賠償を求める住民訴訟がなされたもので、その内、時効到来前に債権放棄した2件について、市に損害が発生したとされたものである。

**問** 一審判決にもあるように、債権放棄により、既に市に損害が発生しており、控訴審でこれ以上、裁判費用を使い争うことの意義を問う見方もあるが。

**答** 強制執行の措置をとったとしても履行される見込みがないとして、債権管理規定上の「特別な事情」に該当すると主張したが、本市の主張が認められなかったことは受け入れがたく控訴を行った。弁護士に依頼することになるので費用の執行があるがご理解いただきたい。(財政課・市長)

### 政府が地方公務員の給与削減を要求の給与削減を要求

**問** 政府は東日本大震災の復興財源確保のため、既に国家公務員の給与7・8%カットを履行しており、本年度、地方交付税を2・2%減額することで地方公務員給与の減額を誘導しようとしているが、市としての対応は。

**答** 地方交付税を地方公務員の給与削減のために用いることは、地方分権の流れに反しており、財政自主権を侵すもので遺憾である。全国市長会など地方6団体も反対しており、今後の動向を慎重に見極める必要があると思っている。(市長)

### 「公開事業レビュー」福知山版事業仕分けの成果と今後は

**問** 今回は模擬実施ではあるが「民営化・大胆な見直し」あるいは「内容・規模見直し」が77%を占めることとなった。市民目線での評価結果を有効に活かすプロセスと手法は。



公開事業レビューの様相

**答** 7事業全てにおいて一定の見直しを指摘された。ただ、内容については更なる充実など肯定的な意見もある。施設の管理者、関係団体と協議しながら、改善を検討したい。(市長公室)



福知山未来の会  
田中 法男 議員

### 公開事業レビュー 模擬実施の課題と 本格実施について

**問** 基本的な考え方とは。

**答** 市の事業について、市民の皆様の参画をお願いし、その内容・規模等について、公開の場で議論し、市民目線で検討・評価していただく。

き、その結果を今後の事業運営や予算に反映させることを目的としている。(市長)

**問** 判定結果への対応は。

**答** 判定結果を真摯に受け止め、見直しを行っている。3月末開催予定の市民検討委員会に方針案を報告し、検討をお願いする。

**問** 課題と今後の方向性は。

**答** 市政運営への参画をより一層促進する観点から、今後は市民判定人の発言機会の拡充について検討する必要がある。(市長)

### 認知症高齢者への 支援体制について

**問** 認知症高齢者への支援についての考え方は。

**答** 認知症になっても、高齢者が尊厳を保ちながら穏やかに暮らし、家族も安心して社会生活を営むことができる地域社会の実現が求められている。そのために多職種協働で専門的視点を与えた「地域ケア会議」の取り組みが必要。また「成年後見センター」を開設する。

**問** 地域ケア会議の考えは。

**答** 地域ケア会議では、地域包括支援センターを中心に、個別課題の解決のみを目的とすることなく、地域の課題を把握し、課題解決に向けた関係機関の連絡調整・役割分担を図っていく。

**問** 成年後見センターで実施する事業とは。

**答** 平成25年度開設するが、京都市を除くと府下初となる。認知症・知的障害・精神障害などの理由で、判断能力が充分でない人を支援

するため、権利擁護に関する成年後見制度の利用促進・普及啓発を行う。(市長)

### 6次産業化の 展開について

**問** 特産物振興係を6次産業振興係に改名した思いは。

**答** 6次産業を市全域に推進することにより、農村の活性化と丹波福知山ブランドの推進を図りたい。

**問** 6次産業とは。

**答** 第1次産業(農林水産物の生産)、第2次産業(加工)、第3次産業(販売)を、

たし算してもかけ算しても6となることから提唱された造語である。生産した農産物を加工し、販売まで行う取り組みのことである。

**問** 市長が6次産業化していきたいものは何か。

**答** 三岳地区で特産物として取り組んでいる「山の芋」や「山菜」、佐賀地区においては「たけのこ」などの地域資源を、将来的には観光土産品や各店舗での食料提供として活用できるように地域の皆様とともに検討していきたい。(市長)



公明党市会議員団  
足立 伸一 議員

### 国の防災関連予算 の交付金事業の活 用について

**問** 防災・安全交付金は、

個々の分野にとらわれず大きくくり、地域に必要で使い勝手のよい仕組みになっている。活用の考えは。

**答** この交付金で通学路の

安全対策補正予算も組んだ。今後の事業計画策定の中で有効に活用していきたい。

**問** 「地域の元氣臨時交付金」

の活用についてはどう取り組むか。

**答** 地方の財源不足に配慮して、地方負担の公共事業費の8割が戻される。これによって浮いた財源をソフト事業に回すことも可能なので、工夫して着実な財政運営をしたい。(財政課)

**問** 地籍調査は抜群の効果

地籍調査は抜群の効果

があるソフト事業であり、メリットが大きい。実施率は、京都市府は7%で全国最下位である。再調査も含め推進を大幅に加速化できないか。

**問** 夜久野など周辺部の課題について

**答** 地元調整が必要だが、協議しながら、地籍アドバタイザーの活用も視野に早期完了にむけて努力したい。

**問** 支所のあり方も含め、

周辺部の課題に取り組む市

の基本的スタンスは。

**答** 周辺地域の活性化について、住民の方々と一緒にあって取り組むというのが基本的な考え。市から一方通行で提案するのではなく地域から斬新な案が出てくることを期待する。

**問** 小学校跡地の利用計画

は。

**答** 当面は地域公民館で利用するが、今後住民の意見を聞きながら活用計画を集約していく。(市長)

### 林業・森林対策に ついて

**問** 市森林整備計画に、木

材活用など、需要を促進する計画がないのが気になる。活用の出口を増やすべきだが。

**答** 府の基準に適合して定めるため利用計画はないが、丹州材事業関連の見直しなど、さらに積極的な活用促進を図る。また、関係者との話し合いも考えている。

**問** 造林には利用しやすい

木を奨励することを考えて

かどうか。

**答** 天然更新の木として油桐も追加候補である。(林業振興課)

### 再生可能エネルギーの調査・研究に ついて

**問** 何を調査し、プランの

作成時期はいつになるのか。

**答** 太陽光、水力、バイオマスの賦存量と利用可能量を調査しており、実証実験の結果などを踏まえて、平成26年2月にプランをまとめた。(環境政策室)



福政会 稲葉 民俊 議員

市民サービスについて

「手話通訳できる職員は。現在1階を中心に配置している。今後は各階ごとに配置を考えている。」

「総合案内窓口業務」の内容は。「お客様満足度ナンバー

1」をお客様満足度ナンバー



希望の会 谷垣 和夫 議員

下紺屋町での火災と旧市街地の防災について

「防火栓の設置基準は。口径75mm以上の給水管

に取り付け、旧市街地では建物から防火栓までの距離が120m以下になるよう設置する。市全体で約20

ワン市」を目指し「案内窓口」を開設してフロアマネージャを配置し、案内業務を充実する。また「ディスプレイ」を設置して会議表示を行う。(市長)

本庁舎の長寿命化改修工事について

「玄関口の転倒防止マットの改善について。」

「平成26年度で改修を考えていきたい。(総務課)

3支所の市民サービスと資産活用について

「00基、旧市街地には約450基ある。」

「夜間や積雪時は防火栓の位置が分かりにくい。」

「防火栓は3年ごとに黄色のペンキを塗り替えており、除雪は消防団員とも連携して行っている。また消防職員や消防団員は日頃から設置場所を熟知している。」

「同時に2力所の消火栓からホースを引くと水圧が一気に下がるが、対策は。」

「系統の同じ配水管だと「共倒れ現象」が起こるので、

「今、支所の担う市民サービスについて。」

「地域活性化に併せ、相談機能の充実を図るために職員の配置をして、市民サービスに努める。」

「(三和・夜久野・大江各支所)

(仮称)市民交流プラザふくちやま建設について

「丹州材の使用計画は。」

「丹州材の使用については約3mを予定している。」

「図書館備品の購入方法は。」

「用途に合った分離発注を今後も考えていきたい。」

「新図書館の運営は。」

「直営で運営し職員22名体制で開館時間、開館日数については、今後協議していきたい。」

「(図書館)

「佐藤八重子記念子ども読書活動基金」の活用は。」

「教育のまち」にふさわしい中央館、3分館、各小中学校の図書館に配置し、子どもたちの読書意欲の増進に努めたい。」

有害鳥獣対策について

「有害鳥獣処理施設整備計画は。」

「福知山市、舞鶴市、綾部市3市の共同施設であり国庫補助が平成26年度中であり福知山市内と考えているが地元との調整が必要である。」

「ランニングコストは。」

「3市の共同施設であるので、処理量に応じた各市の負担と府の支援や交付税

「(図書館・教育総務課)

「期待したい。」

「(林業振興課)

「広域捕獲の対策は。」

「丹波市、朝来市と連携し積極的に取り組み、3月中に広域捕獲が予定されている。」

「(市長)

「有効なサルの追い払い計画は。」

「被害防止ネットに電気柵の計画やロケット花火、爆竹を貸し出して対処していきたい。」

「(林業振興課)

「罹災された住民への窓口を危機管理室に一本化された経緯は。」

「これまで罹災された方は種々の申請手続きのため多くの書類を出す必要があったが、窓口を一本化することで罹災された方や自治会役員さんの負担軽減を図ったものであり、今度の火災が初めてのケースとなった。」

「(危機管理室)

「亡くなられた方が火災時に自治会長などに通報された緊急通報システムとは。」

「(危機管理室)

「人命最優先で警察と消防が協力して付近の聞き込みなどを行い、避難誘導に当たっている。」

「(消防本部)

「(消防本部)

「体調の悪化や事故などを想定した緊急通報システムで、現在約750世帯に設置してあるが、今後は「安心生活見守り事業」に移行する。これは高齢者が24時間、オペレーターと双方向の通話ができ、昼間は日常生活の不安などを相談できる。近隣協力員(連絡先)も1名だけでなく利用しやすい。旧緊急通報システムから順次これに切り替えていくが、新規目標は年30件である。」

「(高齢者福祉課)

# 国民健康保険に対する国庫負担率の引き上げを求める意見書

国民皆保険の基礎をなす国民健康保険は、制度設計当初に比べ加入者層は大きく変化し、特に無職者や年金生活者などの低所得者の占める割合が増加し、あわせて高齢化の進展や医療技術の高度化による医療費増大と相まって国保会計の安定運営が非常に厳しい状況となってきた。被保険者にとっても保険料は家計の大きな負担となり、高すぎて払えない等により収納率の低下の要因となっている。厚生労働省によると、平成23年度の市町村国民健康保険の財政状況については、単年度収支差引額でみた場合の赤字保険者数は市町村全体の46.6%となっており、市町村国保の状況はますます深刻な状況に陥っている。

また、被用者保険等と比較すると同等の収入であっても、その負担額は2倍から3倍と高く、自治体における保険料の地域間格差も3倍以上となっている。

このような事態に陥った大きな原因に国庫負担金の引き下げがある。近年も平成24年4月の法改正により定率国庫負担金(療養給付費等負担金分)が34%から32%に縮減された。

福知山市においても、保険料の引き上げを抑制し、被保険者の負担を軽減するために、一般会計から多額の法定外繰入れを計上するなど厳しい財政運営を強いられている。国民皆保険を支える最後の砦である市町村国民健康保険制度は、もはや危機的な状況であると言わざるを得ない。

よって、福知山市議会は、国会及び政府に対し、国民健康保険制度を今後とも堅持し、加入者が安心して必要な医療が受けられるようにするため、保険給付費に対する国庫負担割合の早急な引き上げなどの財政基盤の拡充、強化を図るとともに、国の責任と負担において実効ある措置を講じられるよう強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成25年3月26日

衆議院議長  
参議院議長  
内閣総理大臣

伊吹文明 様  
平田健二 様  
安倍晋三 様

財務大臣  
総務大臣  
厚生労働大臣

麻生太郎 様  
新藤義孝 様  
田村憲久 様

福知山市議会議長 野田勝康

## 請願ってなに？

請願とは皆さんの意見や要望を文章にまとめて議会に提出することをいいます。この場合は1名以上の議員の紹介が必要で、記名押印した請願書を提出することが要件となっています。受理された請願書は、本会議で関係する委員会に付託(審査をまかせること)され、慎重に審査された後、本会議において採択・不採択を決定します。

## 意見書ってなに？

意見書とは、地方公共団体(府市町村など)の公益にかかわる事柄に関して、議会の議決に基づき、議会としての意見や希望を内閣総理大臣、国会、関係行政庁に提出することをいいます。意見書の発案は議員が行い、これを議会にはかり、決定して、議長の名で関係機関に提出します。

## 決議ってなに？

決議とは、議会が行う意思形成行為で、議員が発案して本会議にはかり、議会の意思を対外的に表明するために行われる議会の議決のことです。

# 議会日誌

2月～4月



## 2月

- 1日 議会運営委員会・各派幹事会
- 4日 市民厚生委員会行政視察
- 5日 北海道小樽市議会行政視察来市
- 6日 全国市議会議長会評議員会
- 7日 全国市議会議長会墓地協議会総会・議員研修会
- 10日 京都市市議会議長会北部ブロック代表者会議
- 12日 京都市与謝野町議会行政視察来市文教建設委員会行政視察
- 15日 各派幹事会
- 18日 京都市市議会議長会関係会議
- 19日 京都市議会議長会・各派幹事会
- 20日 全国市議会議長会高速自動車道市議会協議会
- 21日 市民厚生委員会協議会
- 22日 京都市北部五市議会連絡協議会研修会
- 26日 福知山市議会議員報酬等検討委員会
- 27日 経済委員協議会
- 28日 各派幹事会
- 29日 議会運営委員会
- 30日 新学校給食センター視察
- 31日 3月定例市議会本会議
- 各派幹事会

## 3月

- 4日 各派幹事会
- 5日 議会運営委員会
- 6日 3月定例市議会本会議
- 7日 議会運営委員会
- 8日 3月定例市議会本会議
- 11日 各派幹事会
- 12日 予算審査特別委員会
- 13日 予算審査特別委員会
- 14日 予算審査特別委員会
- 15日 各派幹事会
- 18日 予算審査特別委員会
- 19日 予算審査特別委員会
- 21日 予算審査特別委員会
- 22日 予算審査特別委員会
- 25日 予算審査特別委員会
- 26日 予算審査特別委員会
- 29日 予算審査特別委員会
- 30日 予算審査特別委員会
- 31日 予算審査特別委員会
- 各派幹事会

## 4月

- 2日 議会だより編集委員会
- 4日 議会運営委員会
- 10日 議会だより編集委員会
- 12日 議会運営委員会
- 18日 議会運営委員会
- 24日 総務委員会・府市議会議長会
- 25日 各派幹事会
- 26日 近畿市議会議長会定期総会
- 30日 議会運営委員会
- 各派幹事会

# 別委員会 当初予算関係33議案を審査

■ 予算総額

単位：百万円止で記載（10万円単位を四捨五入）

会計区分	平成25年度	平成24年度	増減額	増減率
一般会計	399億円	376億9000万円	22億1000万円	5.9%
特別会計	214億3900万円	222億3400万円	△7億9500万円	△3.6%
企業会計	180億7200万円	176億6200万円	4億1000万円	2.3%
合計	794億1100万円	775億8600万円	18億2500万円	2.4%

## 総務委員会関係

**Q** 施設マネジメント事業でシステム導入の効果は。

**A** 未利用状態・遊休状態にある市有財産の現状と課題を明確にし、その利活用について基本方針を策定することにより、透明性のある財産の適正な管理を推進できる効果がある。

**Q** e-ふくちやま施設更新事業の内容は。

**A** 整備済みの地域インターネット施設の最小限必要な機材等の更新を行い、サービスの安定した供給を目指すものである。

**Q** スイーツフェスティバル事業の目標及び内容は。

**A** 最近、福知山市内のスイーツに関する店舗があらゆる手段で紹介され、観光客が増える傾向にある。福知山のスイーツに対するイメージの向上や消費の拡大を目指して集客を図るために、フェスティバルを開催し、その実行委員会に補助金を交付するものである。

**Q** (仮称)新まちづくり計画策定準備事業の目的と内容・各種団体との具体的

な連携とは。

**A** 次期まちづくり計画を策定するのに必要である市民ニーズや市民サービスの満足度を把握するために、基礎資料を作成し活用するための事業である。京都府北部地域・大学連携機構と連携を密にするとともに、広く各種団体との連携も視野に入れて進めたい。

## 市民厚生委員会関係

**Q** 絆プロジェクト事業で市役所窓口における職員配置の人数・場所・時期は。

**A** 手話ができる職員は、各フロアに2人程度、1階は5人程度で、合わせて15人程度の配置を考えている。時期は入門的スキルが身につく入門講座終了の8月末頃を考えている。

**Q** 民間保育所運営事業の詳細な内容は。

**A** 保育士の人件費は一般の業種と比べかなり低く、保育士の確保ができないことにより、児童入所ができない状況に対応するため、保育士の人件費を補助する。夜間保育の場所はコスモス保育園の分園で、現在施設

整備を行っている。午後4時から午前1時までの9時間を予定し、定員20名で、0歳から5歳までの園児を預かる。障害児保育の拡充は、市単費事業で行っている障害児特別保育事業補助金という制度で、障害のある子どもを保育する場合に、その該当保育園に追加の保育士を付けるものであり、その人件費を増額し保育士を確保しやすくするものである。家庭支援推進保育は、一人親家庭あるいは家庭や子どもに支援が必要な児童が多くいる保育園に、家庭を支援する加配の保育士への人件費補助である。休日保育は、現在わかば保育園で休日・日曜日・祝日の保育を行っている。一時預かりについては、保育園に入っていない子どもを、冠婚葬祭など突発的な事情で見られない保護者の申し出により、一時的に保育園で預かるというものである。

**Q** ごみ焼却施設基幹的設備改良事業の内容は。

**A** 今回の改良事業は環境省の補助事業で、平成25年度から4年間で総事業費20億円として計上したもので

あり、燃焼設備・ガス処理施設・電気設備の全面的な改良を行い、設備の延命化を行うもので、約20年の延命が図れるものと試算している。

**Q** 敬老乗車券事業で販売方法と予定人数は。

**A** 乗車券は市役所生活交通課と各支所の窓口での販売を考えている。理由としては、年間一人につき上限9000円で、市内に住所のある方を条件としており、住民基本台帳の確認が必要となることも考えられるからである。対象となる75歳以上の高齢者については、約3000人を見込んでいる。

**Q** 国民健康保険料の引き上げの内容は。

**A** 平成22年度から平成24年度までの3年間、保険料は据え置いてきた。今回一人あたり5000円の引き上げをお願いしている。すべての人が上がるのではなく、所得の多い人も少ない人も5000円上がったとして、必要な保険料の額を確保する計算をしている。低所得者の負担を少なくするため、所得割を上げ必要

# 松山市政2期目スタート 「ひと・まちの絆を 育む交流」予算

# 予算審査特 平成25年度

## 一般会計 399億円

## 対前年度比でプラス5.9% 22億1000万円の増

3月定例市議会では、平成25年度予算案の審査をするため、全議員からなる予算審査特別委員会（田中法男委員長、芦田真弘副委員長）を設置し、3月8日（総務委員会所管分）11日（市民厚生委員会所管分）12日（経済委員会所管分）13日（文教建設委員会所管分）18日（総括質疑）19日（総括質疑、討論、採決）の6日間において精力的に審査を行い、本会議最終日の26日の討論を経て、採決の結果、全会計の予算案について、原案のとおり可決しました。

な保険料の額を確保する。  
**Q** 福知山市民病院の救命救急棟建築事業の内容は。

**A** 平成24年3月30日に、京都府から地域救命救急センターの指定を受け、平成22年からドクターヘリの運用も開始されており、救急の充実が求められている。糖尿病の患者も近年増えてきており、現在の26床では対応できず、透析の病床を増やす必要がある。新棟建設位置は、外来駐車場と本館の間、通路と駐車場になっている所である。耐震構造の地上4階建てで、総事業費は医療機器なども含め、16億800万円である。

### 経済委員会関係

**Q** 農山村空き家バンク事業で工夫された点は。

**A** 空き家バンクへの提供物件が14戸、利用希望登録者数が92人となっている。空き家バンクの登録者を増やすために、登録された物件を対象として、固定資産税相当額を一年分、年額3万円を上限として補助するという制度を設けた。

**Q** 有害鳥獣処理施設整備

事業で焼却処理施設の建設予定地は。

**A** 中丹3市の中で圧倒的に捕獲頭数は福知山市が多く、中丹3市と京都府の担当者では、福知山市内ということになっている。広域共同利用施設なので、3市の利用勝手の良い適地を選定しているところである。

**Q** 中心市街地テナントミックス推進事業で中心市街地活性化の目標と方向性は。

**A** 平成25年度からは事業主体を、福知山まちづくり会社だけでなく他の民間の事業者も対象とする。行政主導ではなく、民間の投資によるまちなかの活性化をしっかりと支援していく。

**Q** ガス事業会計清算事業で清算の期日の予定は。

**A** 決算の準備をする必要もあり、概ね9月を目途に清算をするが、ガス事業会計のシステムの保守管理などについては12カ月分の予算を組んでおり、一年間かけて整理をしていく。

**Q** 下水道事業貯留施設設置場の決定と計画は。

**A** 浸水対策として貯留施設と水路改修を行うという形で検討を行い場所を決定している。宅地化が進んでいる所なので、水路に隣接した公園を貯留施設として整備していく計画である。

### 文教建設委員会関係

**Q** 三段池カルチャーパーク整備事業の内容は。

**A** 現在の動物園の南側にレッサーパンダ舎の建設を行う。8月頃から着手し、平成26年4月頃レッサーパンダを導入していきたい。

**Q** 多保市正明寺線高畑工区の請負業者倒産の影響は。

**A** 2月中旬に契約解除が破産管財人との間で整い、後工事の再契約の入札手続を開始した。3月6日に業者が決定し、5月末の完成に向けて工事を進めたい。

**Q** 石原土地区画整理事業特別会計の繰入金金は。

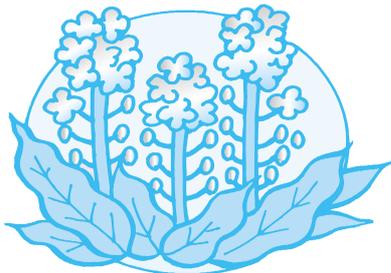
**A** 鉄道網整備事業及び関連都市計画事業基金の残高から可能な額を繰入金として予算化している。平成24年度までは約9億1000万円余り、平成25年度を含めると約11億3500万円となる。

**Q** 小・中学校施設空調設備設置事業の設置計画は。

**A** 1年目に実施設計、2年目から設置工事となる。平成25年度から始めると平成29年度までかかる。全部で332教室あり、市内中心部の学校から5年間かけて設置していく予定である。

**Q** 中学校配膳員配置事業の配膳員の勤務状況と事前訓練の計画は。

**A** 勤務時間は一日4時間、学校により時差出勤で対応。時給は市の臨時職員として880円である。4月8日から12日にかけて、食器・食缶などを学校の配膳室に置きクラスワゴンへの移し変え・リフトの昇降などの訓練を行う。



# 総括質疑

**Q** 個人市民税はわずかに増収とし法人市民税は大きく減少とした根拠は何か。

**A** 平成25年度個人市民税は、平成24年度中の個人所得に対して課税するもの。納税者収入は昨年12月末現在の有効求人倍率を基に推察しても、全国・京都府・福知山市いずれも前年同期を上回っており、雇用状況に大きな変動はないと見込

んだ。法人市民税は、法人税割額の約7割を占める3月決算法人の上位100社と、平成24年度法人市民税額大幅減の10社、計110社にアンケート調査を実施して見積もった。

**Q** 借金を増やさないために市債発行をどう考えているのか。

**A** 市債は単なる運転資金のために発行することはできない。市債が発行できるのは公共施設の整備などに限られており、臨時財政対策債のように地方交付税の代替財源のものもある。交

付税算入のある有利な起債の活用に加えて、将来に負担をかけないために、プライマリーバランスの黒字を維持することが重要であると考えている。

**Q** 持続可能な財政構造を確立するためのような予算を考えているのか。

**A** 先の9月議会で条例を制定した「合併算定替通減対策基金」に、交付税縮減を見据えて取り組む第5次行革の削減効果額の一部を、平成28年度までに22億円蓄え将来の財源不足に備える。

**Q** 「救命の絆」世界一のまち事業を予算計上した経緯や考え方は何か。

**A** 全国共通の課題ではあるが、救急車の到着時間にも限界があることから、できる限り多くの市民救命士を養成し、市内のどこで倒れても、近くに居合わせた市民による速やかな応急手当が行われ、救急隊・医療機関という絆を強化した救命リレーによって「救えるはずの命」を救うことを目的に、地域の救命力の飛躍向上を狙ったものである。

**Q** 観光関連予算を最大限活かした地域振興施策の効

果はどうか。

**A** 新規に「海の京都推進事業」として300万円計上。これは丹後と中丹の5市2町が京都府と連携し、新しい観光圏を創設するもの。本市は福知山城と大江山酒呑童子の里を交流地区として計画している。また大原産屋の里や玄武岩公園の整備でも、地元の皆さんが「茶店」などを出店することで地域の活力につながるのではないかと、地元と協議を進めている。

**Q** 高齢者・障害者福祉の充実について具体的にどのように取り組まれるのか。

**A** 平成25年度においては、「安心生活見守り事業」「成年後見センター運営事業」「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」などに取り組んでいく。介護人材確保で介護福祉士奨学金貸付事業の事業費が大きくなっているが、介護職を志す若者が近隣市町に流出することなく、本市で働いていただくことを目的としている。

**Q** 若者雇用対策と改正高年齢者雇用安定法との関係はどうか。

**A** 若者の地元定着は、市の活力の維持など本市の最重要課題である。高齢者の生活の安定と若年者の就業の拡大、さらに高齢者の知恵や技術・経験の若者への継承、世代交代が円滑に進むよう、関係機関と連携し、高齢者雇用の拡大と若者の雇用をつなぐ循環型の雇用システムの検討を進める必要があると考えている。

**Q** 間伐材の利用が大切だが、その促進方策は何か。

**A** 搬出間伐が主体となった今、間伐材の利用は重要な課題である。丹州材活用促進事業として、民間住宅などでの利用促進を充実させるとともに、本市公共建築物での利用促進方策の策定に取り組んでいる。また民間での利用拡大推進のため、林業事業者や建築関係者による研究的組織を平成25年度早期に立ち上げて検討をお願いしたい。

**Q** 子どもに学力をつける施策が重要と考えるが充実しているのか。

**A** 学力向上や生徒指導・心の教育など生きる力の育成を総合的に推進する施策として、保幼小中一貫・連携教育、通称シームレス学園構想に基づいた取り組みを進めている。中心施策となるのが「まなびのつながり強化推進事業」「文武向上プラン学校支援事業」である。一人一人の子どもの進路を保障し学力の充実・向上を図り、子どもたちの夢を実現したいと考えている。

## 討 論

**反対** 福知山市民の暮らしは長引く不況から脱しきれ

ておらず、給与所得も大幅減収のまま厳しい状況である。物価上昇や消費税増税などが考えられるなかでの保育料引き上げは、低所得の保護者の負担増となる。

また国保加入者は低所得の状態に置かれたままなので、保険料は支払い能力を超えてしまっている。これ以上の保険料引き上げは中止すべきである。

**賛成** 平成25年度当初予算は、399億円という非常に積極的な予算組みとなっている。限りある財源を効果的に配分し、基金を取り崩さず、市債発行も抑制するなか、諸施策に積極的な投資を計上されている。市税は減少するものの、市有財産の活用・未利用財産の売却・地方交付税の算入など意欲的な財源確保を図り、歳出では市民を予算作成の段階から巻き込み立案するという、全国でも珍しい市民参加の手法がとられている。

# 3月定例市議会の議決結果について

## ■全員賛成で可決となった議案

議第99号	平成25年度福知山市国民健康保険診療所費特別会計予算	議第136号	福知山市における高齢者、障害者等の移動等の円滑化のために必要な特定公園施設の設置の基準に関する条例の制定について
議第100号	平成25年度福知山市と畜場費特別会計予算	議第137号	福知山市道路占用料条例の一部を改正する条例の制定について
議第101号	平成25年度福知山市簡易水道事業特別会計予算	議第138号	福知山市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について
議第102号	平成25年度福知山市宅地造成事業特別会計予算	議第139号	福知山市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について
議第103号	平成25年度福知山市休日急患診療所費特別会計予算	議第140号	福知山市学校給食センター設置条例の一部を改正する条例の制定について
議第104号	平成25年度福知山市公設地方卸売市場事業特別会計予算	議第141号	福知山市立公民館条例の一部を改正する条例の制定について
議第105号	平成25年度福知山市農業集落排水施設事業特別会計予算	議第142号	訴えの提起(裁判上の和解を含む。)について
議第106号	平成25年度福知山市都市計画事業石原土地区画整理事業特別会計予算	議第143号	辺地総合整備計画の変更について
議第107号	平成25年度福知山市都市計画事業福知山駅周辺土地区画整理事業特別会計予算	議第144号	過疎地域自立促進市町村計画の変更について
議第108号	平成25年度福知山市介護保険事業特別会計予算	議第145号	平成24年度福知山市 一般会計補正予算(第6号)
議第109号	平成25年度大江市都市計画事業河守土地区画整理事業特別会計予算	議第146号	平成24年度福知山市 一般会計補正予算(第7号)
議第110号	平成25年度福知山市下夜久野地区財産区管理会特別会計予算	議第147号	平成24年度福知山市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)
議第111号	平成25年度福知山市後期高齢者医療事業特別会計予算	議第148号	平成24年度福知山市と畜場費特別会計補正予算(第1号)
議第113号	平成25年度福知山市水道事業会計予算	議第149号	平成24年度福知山市都市計画事業石原土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)
議第114号	平成25年度福知山市下水道事業会計予算	議第150号	平成24年度福知山市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)
議第115号	平成25年度福知山市病院事業会計予算	議第151号	平成24年度福知山市地域情報通信ネットワーク事業特別会計補正予算(第2号)
議第116号	福知山市事務分掌条例の一部を改正する条例の制定について	議第152号	平成24年度福知山市病院事業会計補正予算(第1号)
議第117号	福知山市附属機関設置条例の一部を改正する条例の制定について	議第153号	福知山市実費弁償条例の一部を改正する条例の制定について
議第118号	福知山市情報公開条例の一部を改正する条例の制定について	議第154号	福知山市災害対策本部条例の一部を改正する条例の制定について
議第119号	福知山市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について	議第155号	福知山市土地開発基金条例を廃止する条例の制定について
議第120号	福知山市長及び副市長並びに上下水道事業管理者の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	議第156号	福知山市新型インフルエンザ等対策本部条例の制定について
議第121号	福知山市教育委員会の教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	議第157号	福知山市へき地保育所条例を廃止する条例の制定について
議第122号	福知山市一般職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	議第158号	工事請負契約の締結について
議第124号	福知山市の特別職等の職員で常勤のものの退職手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について	議第159号	物品の取得について
議第125号	障害者自立支援法の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	議第160号	財産の無償譲渡について
議第126号	福知山市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	議第161号	字の区域及び名称の変更について
議第127号	福知山市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定について	議第162号	市道の認定及び廃止並びに路線変更について
議第128号	福知山市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	議第163号	専決処分の承認について
議第129号	福知山市企業誘致促進条例の一部を改正する条例の制定について	議第164号	福知山市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について
議第130号	京都北部中核工業団地工場誘致に関する条例の一部を改正する条例の制定について	議第165号	福知山市副市長の選任について
議第131号	福知山市道路の構造の技術的基準を定める条例の制定について	議第166号	監査委員の選任について
議第132号	福知山市道路標識の寸法に関する基準を定める条例の制定について	議第167号	教育委員の任命について
議第133号	福知山市における高齢者、障害者等の移動等の円滑化のために必要な道路の構造の基準を定める条例の制定について	議第168号	人権擁護委員の候補者の推薦について
議第134号	福知山市準用河川管理施設等の構造に関する条例の制定について	議第169号	人権擁護委員の候補者の推薦について
議第135号	福知山市営住宅等の整備の基準に関する条例の制定について	議第170号	人権擁護委員の候補者の推薦について
		市会決議第1号	福知山市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について
		市会決議第2号	福知山市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について
		市会決議第1号	国民健康保険に対する国庫負担率の引き上げを求める意見書について

## ■議員別議案賛否一覧表(賛否が分かれた議案の賛否状況を掲載しています)

議案 (議決結果)	会派別議員名	議決結果	日本共産党 福知山市会議員団		公明党 福知山市会議員団		福知山 未来の会		福政会		新政会		維新 福知山		希望の会		無会派									
			塩見卯太郎	足立進	大槻富美子	中島英俊	吉見純男	大谷洋介	足立伸一	吉見茂久	田中法男	奥藤晃	森下賢司	稲葉民俊	和田久	谷口守	稲垣司郎	木戸正隆	高橋正樹	塩見日出勝	田淵裕二	芦田眞弘	桐村一彦	谷垣和夫	藤田守	高宮辰郎
議第97号	平成25年度福知山市一般会計予算	可決	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第98号	平成25年度福知山市国民健康保険事業特別会計予算	可決	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第112号	平成25年度福知山市地域情報通信ネットワーク事業特別会計予算	可決	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
議第123号	福知山市退職手当支給条例等の一部を改正する条例の制定について	可決	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第3号	福知山市土地開発公社解散・清算に関する議会決議の履行を議会に対して求める請願	不採択	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
請願第4号	発達支援センターの建設の具体化を求める請願	不採択	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

○：議案に対して賛成 ×：議案に対して反対 -：棄権※野田勝康議員(福政会)は、議長職のため表決に加わっていません。

# 3月定例市議会 常任委員会審査報告

## 総務 常任委員会

3月定例市議会本会議において、委員会付託を受けた条例改正、補正議案など10議案を、2月28日、3月14日に委員会を開催し、慎重な審査を行い、全議案を全員賛成で可決しました。

### 主な議案審査

#### ▼平成24年度一般会計 補正予算(所管事項)

●地域交流拠点施設整備事業債について、緊急経済対策を活用すると従来の事業債に比べてメリットはあるのか、将来の起債償還に好影響を及ぼすかなどの問いに、起債充当率が75%から100%に、交付税算入率が22%から50%になり、また事業を前倒して実施でき、大変、有利であるとの答弁がありました。

#### ●市民会館・中央公民館改修事業について、基本設計と実施設計時に市民ニーズをどう取り入れるかとの問いに、4階のホールを文化ホールの改修してほしいとの市民からの要望があり検討しているとの答弁がありました。

●行政評価推進事業について、行政評価システムを付属させる基となる財務システムが終了するののかとの問いに、今回は見送り、新たな財務システムを導入する際に公開事業レビューなどでもわかりやすい資料が作成できるシステムを導入するよう努めるとの答弁がありました。委員からは市長公室と財務部と業者の密接な連携を期待するとの意見がありました。

●第三セクター等改革推進債償還基金積立事業について、議会への報告はどのようなのかとの問いがあり、まず第三者検討委員会で確認していただいた後、議会に報告することになったとの答弁がありました。

●合併算定普通減対策基金積立事業では、前倒しで積極的に積み立てているのかとの問いに、目標を下回っ

ており更なる努力が必要との答弁がありました。

●石原土地区画整理事業特別会計繰出金について、事業の閉鎖時期はとの問いに、保留地を一刻も早く売却して閉鎖したいとの答弁がありました。委員からは、早く売却し、固定資産税による歳入の確保をお願いしたいとの意見がありました。(全員賛成可決)

#### ▼(仮称)市民交流プラザ ふくちやまに配置する 自動書庫の選定

●選定をした委員会の将来的な責任の所在についての問いに、選定までが選定委員会の役割であるとの答弁でした。(全員賛成可決)



## 市民厚生 常任委員会

3月定例市議会本会議において、委員会付託を受けた国の緊急経済対策にかかる補正議案1議案を2月28日に、また補正議案など11議案を3月14日に、それぞれ委員会を開催し慎重な審査を行い、全議案を全員賛成で可決しました。

### 主な議案審査

#### ▼平成24年度一般会計 補正予算(所管事項)

●KTR老朽化対策事業では国の緊急経済対策によりKTRの電力遠方制御装置の更新費用を補助するもの

#### ▼平成24年度一般会計 補正予算(所管事項)

●同じくKTRの経営支援事業において補助が基金方式から補助金方式に変わったのは、府の基金は平成10年に枯渇し沿線市町の拠出金の受け皿に過ぎなかったのを、沿線市町が直接KTRに支払う補助金方式に変えたもので、市民も含めてKTRを走らせる意義をより認識できるのではないかと市の負担割合は全体の10.02%である。

●地方バス路線運行事業では、市民病院への乗り入れや利用促進会議の成果などで運賃収入が増えたため市の補助金が減少したとの答弁があった。

●長谷墓園基金事業と長田野墓園基金事業では、災害などに備えて基金積立をしており、その額はそれぞれ680万円と960万円である。

●障害福祉施設整備事業では重度対応型ケアホームの入所者と介助者の比率は、障害程度区分3で9対1、区分4で6対1、区分5で4対1、区分6で2・5対1となっている。

●今回年度に繰り越すことになったのは、相続登記の関係で用地取得、建築確認申請に日数を要したためとの答弁があった。(全員賛成可決)

#### ▼財産の無償譲渡について

●中六人部保育園の民営化後について、園舎は築後42年経過しており、国の施設整備補助金を充てて早期の建て替えが望ましい。また民営化後は国の定める保育料単価による運営費が国・府費の負担金の形で交付される。その算出方法は4割が保育料、3割が国、1・5割が府、1・5割が市の割合になっており市からは保育料の2・5割をさらに補助している。従って民営化すれば安定した経営が見込まれる。

#### ▼平成24年度病院事業 会計補正予算

●新大江病院の本館の耐震化診断を行った結果、IS値0・62Q値2・17で、耐震化工事は必要ないとのことであった。(全員賛成可決)

経済  
常任委員会

3月定例市議会本会議において、委員会付託を受けた補正議案2議案について、3月14日に委員会を開催し、慎重な審査を行い、2議案とも全員賛成で可決しました。

主な議案審査

▼平成24年度一般会計  
補正予算(所管事項)

●大呂自然休養村センターの管理宿泊棟施設の建設場所の変更について、これまでのボーリング調査の費用、地元との協議内容、グラウンドゴルフ場との関係などを聞く質疑に対して、予定の建設場所でのボーリング調査を行ったが安定する地盤まで20メートルの掘削が必要になり、経費がかさむため新たな場所として現在の宿泊施設の隣へ変更する。

これまでの経費は基本設計が270万円、ボーリング調査に200万円である。地元との協議では自治会や天寧寺とも協議し了解を得ている。グラウンドゴルフ場との関係では、当初は施設の窓から見えることに

▼と畜場費特別会計  
補正予算

なっていたが、新たな建設場所は下のほうへ移動するのでグラウンドゴルフ場は見えないが、地元の方も活性化に向けて取り組んでおられるので、なんとかできるように取り組むとの答弁でした。

●病畜の内容と処理単価、増える頭数についての質疑に対して、病畜とは骨折や白血病など獣医師が判断したものである。処理単価は福知山市廃棄物の処理及び清掃に関する条例で、1回につき5kgから20kgまで400円、20kgを超えるものは20kgまでごとに400円増となっている。増える頭数は40から50頭と見ているとの答弁でした。



手前がボーリング調査を行う所

●ふるさと融資貸付事業で当初の見込みより下回った理由を聞く質疑に対して、平成24年7月に1社が分譲決定したが、平成24年度中に建設をしなかったためとの答弁でした。

(全員賛成可決)



処理頭数が増えている食肉センター(牧)

(全員賛成可決)

文教建設  
常任委員会

3月定例市議会本会議において、委員会付託を受けた条例改正、補正予算など16議案を、2月28日、3月14日に委員会を開催し、慎重な審査を行い、全議案を全員賛成で可決しました。

主な議案審査

▼平成24年度一般会計  
補正予算(所管事項)

●国の緊急経済対策による補正予算として、教育委員会関係では、小学校6校11棟、中学校2校3棟の耐震改修事業に3億5760万円が増額補正され、平成25年度に繰り越して学校施設の安全・安心を確保するための耐震補強工事が行われます。委員からは、耐震化率の状況を聞く質疑があり、今回の繰り越し分の工事が完了すれば、小学校96・5%、中学校86・5%、幼稚園42・9%となり、小・中・幼合わせて90・7%になるとの答弁がありました。

●南天田団地建替事業では、府の地球温暖化対策条例の変更に伴い、ソーラーパネルの設置が必要となり、地上

上据え置き型のソーラー設備を設置する決定を行い、そのスペースを確保するために、第2期棟の位置を若干変更したとの説明を受けました。

●市営住宅改善事業では、2172万円の事業費が減額補正されることについて、委員からの質疑に対して、南佳野野団地2棟分の水道管改修工事において、工事請負の落札率が低かったことと、当初は屋上設置と地上設置のポンプを置く設計としていたが、最終的に屋上設置型ポンプの規模を変更し、従来から使用していた地上設置型ポンプを活かしながら、より有効に各階へ配水するという設計変更の結果、全体額が下がったとの答弁がありました。

●中学校教師用教科書・指導書購入事業の減額補正について、当初のデジタル型

▼条例関係

●学校給食センターの移転・統合による学校給食センター設置条例の一部改正など、新規条例6件、一部改正4件の条例制定について、慎重に審査を行いました。

(全員賛成可決)

3月定例市議会 常任委員会審査報告

# 常任委員会の活動報告

各常任委員会では、議会の閉会中においても、所管事項についての調査・研究活動をおこなっています。その結果は、全議員に報告し、議会の審議に役立てられます。

## 総務委員会

### 《委員会の構成》

- 委員長 大谷 洋介
- 副委員長 塩見 日出勝
- 委員 田中 法男
- 委員 谷口 守
- 委員 吉見 純男
- 委員 木戸 正隆

の手法や成果等を市民とともに評価・検証を行い、評価結果を当該年度又は次年度以降の事業執行に反映させる画期的な取り組みとなった。職員のプレゼン能力のアップ、また事業の「そもそも」の目的を再確認する場ともなり評価したい。

で、上部の解体が終わり、杭の引き抜き作業に着手した際に、想定外の杭の状況が確認されたとの説明を受けた。

## 市民厚生委員会

### 《委員会の構成》

- 委員長 谷垣 和夫
- 副委員長 藤田 守
- 委員 吉見 茂久
- 委員 奥藤 晃
- 委員 和田 久
- 委員 大槻 富美子

### 《行政視察報告》

#### 京田辺市の大住ふれあいセンターを視察

活動日 2月4日

▽大住ふれあいセンターは老人福祉センター「宝生苑」と「大住児童館」が併設された複合施設です。高齢者と子供たちが自然な形で共にふれあい、世代を越えた交流が行われることをめざして平成17年に開設されました（総事業費は約14億円）。年間経費は老人福祉センターが約2200万円、児童館が約1300万円とのこと

来所時にバス利用の場合は半額補助されます。▽利用できるのは、老人福祉センターは市内在住の60歳以上、児童館は市内在住の乳幼児とその親、および18歳以下の児童生徒。▽老人福祉センターの施設としては、グラウンドゴルフ場、カラオケルーム、健康増進ルーム、浴室などがあり、各種サークル活動が行われています。お風呂上がりにくつろいでおられる方やカラオケに興じる皆さんにお聞きすると口々に「ここに来るのが生き甲斐」と話しておられました。

▽なお児童館部分の施設としては、パソコン室、多目的広場、遊具広場、遊戯広場などがあります。▽高齢者と子供たちの直接の交流の場としては、人形劇鑑賞や餅つき大会などが行われており、市の事業として月3回、保健師や作業療法士による介護予防教室も実施されています。

▽グラウンドゴルフやカラオケまですべて無料という、うらやましいような施設ですが、高齢者にとって健康増進と生き甲斐づくりの場になっており、子供たちには大人と接する場となっており、自然な交流が生まれているように感じました。

### 委員会にて請願審査

活動日 1月24日  
3月14日

▽（仮称）発達支援センター、基本構想の概要と、市民意識調査アンケート結果の概要について、子育て支援課から説明を受けました。



熱のこもった事業仕分け

### 公開事業レビューの模擬実施について

活動日 2月3日

▽希望者で傍聴した。市が行う事務事業について、そ

### 新図書館中央館自動書庫整備事業公募型プロポーザルの結果について

活動日 2月5日

▽希望者で傍聴した。公開による選定委員会にて、4名の審査委員の評価得点が一番高い事業者と契約を行い、開かれたイメージを強く持った。

### 旧福知山消防署跡地の工事及び売却に係る対応について

活動日 3月14日

▽解体工事を進めている中



説明を受けた旧福知山消防署跡地

### 福知山市原子力災害住民避難計画について

活動日 3月19日

▽福井県の高浜発電所の概ね30km圏内を「防護準備重点区域（UPZ）」として、必要な事項を定めたとの説明を受けた。



施設長らと質疑応答

経済委員会

《委員会の構成》

- 委員長 足立 進
- 副委員長 稲葉 民俊
- 委員 桐村 一彦
- 委員 足立 伸一
- 委員 田淵 裕二
- 委員 塩見 卯太郎

有害鳥獣対策の現状と課題(焼却処理施設整備の検討)について

活動日 1月23日

▽説明を聞くにあたり、委員から質問項目の提出を求めたところ、39項目(重複を含めて)出て来ました。現状と課題の資料をいただき、説明を聞きました。主なものをあげます。

▽猟友会員190名にアンケートを実施した。個体の埋設処理でなく、焼却施設が出来れば、61%が利用するとの回答があった。

▽駆除隊は第2と4の日曜日に、112自治会へ、のべ53班、396人が出勤し、シカ82頭、イノシシは0頭であった。今年はいノシシが低地にいないと言われた。

中心市街地活性化基本計画に基づく事業の現地視察

活動日 2月20日

▽午後1時30分から福知山城の天守閣にある会議室で、事業の現状と今後の計画について担当者より説明を受けました。

現在、48事業を内閣府へ提出しており、来年度には中間報告を作成し提出することになっている、との報告でした。



城の会議室で説明を聞く

▽「ゆらのガーデン」の入場者数は、開園時よりは減ったが平均して8000人弱で推移している。駐車場の車のナンバーから、来店者は府外70%、府内が30%である、との報告でした。

▽治水記念館では、建物の

構造が浸水時に対応できるようにしていることを、柳菱クラブの方に説明をしていただき、あらためて水害との歴史を感じました。



治水記念館の前で外観の説明を聞く

▽広小路商店街では、テナントミックス事業により、すでに店舗の外装を新しくされたところや、喫茶店などを開業されるために、改修工事の現場を見ました。また、今後は広小路リニューアル部会により道路の形状も検討されることを聞きました。

▽旧福知山消防署跡地を視察後、JR福知山駅まで歩き、観光案内所に立ち寄った後、駅からまちなか循環路線バスに乗り、ルート沿線を見学しながら市役所へ帰って来ました。

文教建設委員会

《委員会の構成》

- 委員長 高宮 辰郎
- 副委員長 稲垣 司郎
- 委員 森下 賢司
- 委員 高橋 正樹
- 委員 中島 英俊
- 委員 芦田 眞弘

行政視察報告 兵庫県豊岡市公共建築物等における木材利用の促進について

活動日 2月12日

▽豊岡市立小野地区防災拠点交流施設多目的ホールで、

詳細な説明を受けました。豊岡市では、公共建築物で木造化と内装などの木質化を図り、市民が木に触れ親しみ、木の持つ優れた特性を知り、木材利用の促進につながるよう取り組みが進められています。市の組織内にも、各部署に方針が行きわたり、事業原課と建築住宅課が調整を行い建築設計にあたっています。促進に当たっては、兵庫県産木材、但馬産木材、地元産木材を優先的に利用できる方策として、建設工事と木

材調達の分離発注制度を採用されています。

この日の研修会場も平成23年に地元産木材調達の材区分発注で施工されており、その発注システムについて、委員から興味深く質問が出されました。

地元産木材に限って調達することは、調達システムの確立や良好な建築材の入手など、様々なハードルがあるとのことでしたが、地元産材を特別に扱う業者の育成や、地元産木材利用の市民PRなどが不可欠となるとのことでした。



豊岡市小野地区防災拠点交流施設で研修

新福知山市学校給食センターを視察

活動日 2月22日

▽問屋町に竣工した新福知山市学校給食センターを全員で視察しました。

今回の新学校給食センターの完成で、市内の全小中学校において給食が実施されます。

新福知山市学校給食センターは、1日7000食の調理能力があり、防菌対策などの安全管理も充実した内容となっています。

全小中学校の児童・生徒が安心して学校給食が楽しめるよう期待しています。



新学校給食センターを視察

議員報酬等検討委員会の  
取り組み報告(2015年)

《委員会の構成》

- 委員長 奥藤 晃
- 副委員長 大谷 洋介
- 委員 高宮 辰郎
- 委員 桐村 一彦
- 委員 田中 法男
- 委員 稲葉 民俊
- 委員 高橋 正樹
- 委員 中島 英俊
- 委員 木戸 正隆

それぞれ限度額を設けてはどうかという意見もあったが、食事はどこにいても伴うもので公費を使うべきではないということから飲食代は政務調査費から支出せずに議員個人の自己負担とすることとした。

②行政視察や研修時のマイカーやレンタカーの使用を認める。

時間的、経費的にも有効であればマイカーやレンタカーの使用を認めるもので、従来から認めてきて、実施している会派もあったが、全会派に周知されていなかったため、統一認識として再確認した。

2 費用弁償について

平成23年11月22日に福知山市議会議員報酬等検討委員会(以下、「委員会」という。)を設置し、議員報酬、政務調査費、議員定数等について検討を行ってきた。平成24年度は、政務調査費、費用弁償、議員報酬について協議を重ね、結論を得たので次のとおり報告します。

1 政務調査費について

①行政視察や研修時の飲食代は自己負担とする。

平成24年度交付分の政務調査費から既に実施済であったが、当委員会ですら正式に取り決めた。昼食、夕食にそ

れぞれ限度額を設けてはどうかという意見もあったが、食事はどこにいても伴うもので公費を使うべきではないということから飲食代は政務調査費から支出せずに議員個人の自己負担とすることとした。

②行政視察や研修時のマイカーやレンタカーの使用を認める。

3 議員報酬について

①平成25年度の議員報酬については現状維持とする。

市の人口を基準として報酬を決めてはどうかといった意見もあった中、近年の議員の活動状況や経済的な状況、京都府内各市議会の状況等も踏まえ、大方の会派が現状維持という意見であった。

当委員会は、原則公開のもと開催しています。平成24年度の取り組みについて、「議会だより」や市議会ホームページに掲載し、委員会設置の趣旨も踏まえ市民の意見も聴きながら市民に対して説明責任を果たしていきます。

なお、議員報酬の調査検討を毎年行うほか、政務調査費(平成25年度交付分から、政務活動費に改称)の交付額や議員定数等についても、引き続き総合的に調査検討していきます。

《委員会の構成》

- 委員長 芦田 眞弘
- 副委員長 吉見 茂久
- 委員 高宮 辰郎
- 委員 森下 賢司
- 委員 稲葉 民俊
- 委員 高橋 正樹
- 委員 木戸 正隆
- 委員 大槻 富美子

平成24年5月1日の広報

広聴に関する検討委員会(以下、「委員会」という。)をはじめ、5回開催の委員会により広報広聴活動について検討を行い、一定の結論を得たので報告します。

1 広報部門について

現在の議会だよりの編集作業を継承します。

2 広聴部門について

- 傍聴席入口に市民からのアンケート箱を設置します。
- 傍聴席入口に「議会だより」の表紙写真募集要項用紙を設置し市民に周知広く市民からの写真募集を求めます。
- 議会だよりの紙面の一部にアンケート部分(返信用封筒等)を年一回程度設けます。

6月定例市議会の予定

(22日間)

- 6月5日(水) 招集予定 本会議 (提案理由説明)
- 13日(木) 本会議 (質疑、一般質問)
- 14日(金) 本会議 (一般質問)
- 17日(月) 本会議 (一般質問)
- 18日(火) 常任委員会
- 19日(水) 常任委員会
- 25日(火) 本会議 (採決)
- 26日(水) (公期)

※この議会予定は、今後変更する場合があります。また、このほかに、全議員協議会などの会議が随時開催されます。

本会議を傍聴

してみませんか

本会議の傍聴は、市役所本庁舎6階の傍聴受付で、所定の用紙に氏名を記入し、傍聴規則を守って、傍聴席(定員60人)において傍聴できます。

なお、団体に傍聴を希望される場合は、事前に市議会事務局までご連絡ください。

駐車場を利用される方は、90分を超える無料駐車券を発行します。市議会事務局まで申し込んでください。

市議会事務局

TEL 0773-2417031

広報広聴に関する  
検討委員会の取り組み  
報告(2015年)

# 平成24年度政務調査費の各会派収支報告

議員の調査研究に資するために必要な経費の一部として、会派（無会派を含む）に対し議員1人あたり年額18万円を政務調査費として交付しています。なお、交付額から支出額を差し引いた残高は市に返還されます。

※年度の途中に会派の解散、結成、又は所属人数に変更があった場合は、交付額は調整されています。（単位：円）

会派名 所属議員	交付額	支出額	支出科目内訳								
			研究研修費	調査旅費	資料作成費	資料購入費	広報費	公聴費	人件費	事務所費	その他の経費
日本共産党 福知山市会 議員団 塩見卯太郎 足立 進 吉見 純男 中島 英俊 大槻富美子	900,000	919,607	238,380	515,629	112,783	0	52,815	0	0	0	0
			(1) 研究・研修の主な政策研究テーマ ・自然エネルギーを基礎にした産業の構築と雇用促進 ・議会広報 ・東日本大震災の応急復旧復興対策 ・まちづくりの基礎を学ぶ 公共事業政策の基礎を学ぶ (2) 政務調査事項 10月30日 東広島市 小水力発電について 10月31日 周南市 土地開発公社の解散について 1月17日 霧島市 地域協議会の仕組みと補助金について 1月18日 鹿屋市 「やねたん」(柳谷自治会)の地域再生活動の取り組み (3) 政務調査の成果と課題 ・再生可能エネルギーで、小水力発電の先駆者の活動に学び、福知山地方での具体化を語る ・福知山市土地開発公社が解散したが、他の自治体の取り組みを学ぶ生かすために視察 ・地域が元気になること福知山が元気になる。そのため地域協議会の取り組みを学んだ ・100戸(人口311人)の集落で元気に活動している先進地を学び、本市にも生かすため視察								
公明党福知 山市会議員 団 大谷 洋介 足立 伸久 吉見 茂久	540,000	539,499	351,000	0	136,584	51,915	0	0	0	0	0
			(1) 主な政策研究テーマ①議会基本条例②財政健全化③社会保障・社会福祉④防災⑤その他 (2) 政務調査事項 ①10月29日～30日「議会改革を考える」国際文化アカデミー(滋賀・大津) ②7月28日～29日「自治体予算の原則」8月2日～3日「地方財政の課題と方向性」1月17日～18日「財政健全化」国際文庫 10月13日～14日「よくわかる市町村財政講座」富士電機能力開発センター(東京・日野) ③8月6日～10日「社会保障・社会福祉(基礎)」11月12日～16日「(応用)」国際文化アカデミー ④9月27日～28日「防災と議員の役割」国際文化アカデミー ⑤11月8日～9日「政治の行方」市町村アカデミー(千葉・浦安)21日～22日「地域の再生と活性化」国際文化アカデミー (3) 政務調査の成果と課題 ①議会報告会を開催し、情報公開・住民参加を謳う議会基本条例が制定できた②決算カードの熟読をはかり、財政白書の 作成に繋げたい③社会保障と税の一体改革の確実な履行が必要である④防災計画の見直しが必要である								
福知山未来 の会 田中 法男 谷垣 和夫 (H25.2.8議会) 田淵 裕二 (H25.2.8議会) 森下 賢司 奥藤 晃	870,000	869,702	0	826,749	27,183	5,250	9,440	0	0	1,080	0
			(1) 主な政策研究テーマ ・スポーツ合宿誘致促進・中心市街地活性化・災害時の議員の役割・総合窓口化事業 (2) 政務調査事項 ・5月9日～10日「地方選挙と日本政治の行方」「災害対応力の強化」「これからの政治の行方」「日本経済・地域経済」 「地方議会の役割と改革の行方」「地方議員の役割と改革の行方」 ・11月8日～9日「これからの政治の行方」「最近の権論議に危惧すること」「道州制をめぐる諸問題」 ・1月15日～16日「どうなる日本経済・地域経済」「これからの政治の行方」「どこまでですんだ！議会改革」 ・5月8日 静岡県島田市「スポーツ合宿誘致促進事業」について・藤枝市「中心市街地活性化事業」について ・11月7日 福島県南相馬市「議会災害対策会議」「災害時の議員の役割」について ・1月15日 千葉県我孫子市「提案型公共サービス民営化事業」について ・1月16日 埼玉県朝霞市「総合窓口化事業」について (3) 政務調査の成果と課題等 ・市町村アカデミーでは今後の議員のあり方、災害時の議員の役割などについて学習し、視察。島田市のスポーツ合宿誘 致、藤枝市の中心市街地活性化、我孫子市の提案型公共サービス、朝霞市の総合窓口化などの諸事業の取組について政 策提言をおこなう。								
平成会 谷口 守 (H25.2.14議会) 高宮 辰郎 (H25.2.14議会) 藤田 守 桐村 一彦 (H25.2.8議会)	660,000	687,607	0	661,651	23,976	1,980	0	0	0	0	0
			(1) 主な政策研究テーマ ・①防災避難の教訓、②原発震災の対応、③小中一貫校について ・①地域経済活性化事業、②新規就農者等支援事業、③食と農からのまちづくり事業 ・若狭地域の原子力発電所施設視察 (2) 政務調査事項 ・5月9日～11日 ①宮城県大崎市→防災、②福島県二本松市→原発、③東京都武蔵村山市→小中校 ・11月7日～9日 ①青森県平川市→補助整備、②岩手県八幡平市→事業、③秋田県横手市→食と農 ・1月17日～18日 ①関西電力 大飯・高浜・美浜各発電所、②日本源電 敦賀発電所 (3) 政務調査の成果と課題等 ・東日本大震災における危機管理、原発対応、また、小中一貫の意識改革が図られた。 ・少子高齢化の課題、農業生産額の増大、地産地消等道筋のある展開が必要である。 ・発電施設・安全の取り組みが理解できた。使用済み燃料の処理が課題である。								
福政会 稲葉 民俊 野田 勝康 和田 久 芦田 真弘 (H25.2.8議会) 谷口 守 (H25.2.14議会)	705,000	703,948	0	494,381	132,920	33,370	0	0	0	43,277	0
			(1) 主な政策研究テーマ ・ガス民営化について ・図書館運営について ・景観条例について ・図書館「指定管理制度」について (2) 政務調査事項 ・7月30日～31日 新潟県長岡市(ガス民営化) ・10月24日～26日 愛知県稲沢市(図書館運営)、愛知県一宮市(中央図書館整備事業) 滋賀県栗東市(景観条例) ・1月28日～29日 神奈川県綾瀬市(図書館指定管理制度)、愛知県一宮市(業務委託事業) (3) 政務調査の成果と課題 ・本市のガス民営化の取り組みや、景観条例の制定に対する政策提言を行う。 ・稲沢市・一宮市・綾瀬市における図書館運営について政策提言を行う。								
市民と改革 の会 (H24.6.3解散)	90,000	1,457	0	0	1,457	0	0	0	0	0	0
刷新の会 (H24.6.18解散)	90,000	17,199	0	0	17,199	0	0	0	0	0	0
無会派 (H24.6.18届出)	45,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新政会 (H24.6.18結成)	270,000	80,812	69,255	0	217	11,340	0	0	0	0	0
			(1) 主な政策研究テーマ 自治体が抱える人事上の課題 自治体予算を考える。 (2) 政務調査事項 ・11月20日～21日 給料表と人事評価制度・昇格、降格と問題職員の分限処分他 ・1月26日～27日 財政の機能・自治体予算の役割・予算のルール他 (3) 政務調査の成果と課題 ・人事は、しっかりとした基準をもって行うことと、極力定期的な異動を繰り返さないことが肝要。 この研修は、執行機関に受講されることを勧める。 ・国と地方の役割分担や自治体の予算の役割など、地方議員として良い研修だった。								
維新 福知山 (H24.6.18結成)	270,000	261,284	10,240	211,980	9,279	29,785	0	0	0	0	0
			(1) 主な政策研究テーマ ・地域主権 ・環境施策 ・地方経営 ・財政健全化 ・まちづくり (2) 政務調査事項 ・11月8日～9日 第53回地方自治経営学会「明日の日本と地域経営の戦略を展望する」 ・11月14日～16日 第17回清溪セミナー「陸前高田の再生、地域を錦に飾る政治活動」の実践、自治体首長のリーダーシ ップとは等 ・1月17日～18日 平成24年度第5回市町村議会議員短期研修「自治体財政の見方」 (3) 政務調査の成果と課題 ・豊かな自然を活かし、観光、企業戦略、地域経済、雇用を議会としてどのようにとらえ推進、後方支援していくのか、 北近畿への大きな啓示と今後への重要な提言であった。 ・財政指標の見方と分析手法は、益々重要となる課題であり、今後共、継続的な研究課題と位置づけたい。								
希望の会 (H25.2.8結成)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無会派 (H25.2.8届出)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

# 「元気やで福知山！」

議員訪問インタビュー

No.7

■今回の訪問議員：谷口 守 議員・森下 賢司 議員 (3月3日 庵我児童館にて)

## ～楽しく、おもしろく、まちの賑わいづくりを～ 「丹波福知山手づくり甲冑隊」の皆さん

「元気やで福知山！」の第7回を掲載します。福知山でさまざまな活動を通じてがんばる人を取材先として募集し、議員が訪問します。

今回は、自分たちで作った甲冑に身を包んで楽しくまちおこしに取り組みられている「丹波福知山手づくり甲冑隊」の皆さんをお訪ねしました。



昨年の福知山お城まつりで初登場

「丹波福知山手づくり甲冑隊」は、福知山市が開催した「手づくり甲冑教室」を受講して、それぞれ自慢の甲冑を作成した皆さんを会員として構成されています。一昨年受講の15名で発足し、昨年の第2期生は8名、総勢23名で活動されています。

「やっている本人が楽しく面白く」をモットーに、「甲冑を身に纏って城下町福知山をPRし、まちに賑わいと活性化をもたらしたい。観光客を増して経済効果と潤いが期待できれば。」と、「隊長」の寺本吉勝さん。

寺本さんは、鎧や甲冑を取り上げたテレビ番組に触発され、3年前に半年間京都市内に通って甲冑作成を学ばれました。その後、甲冑ボランティアの声がかかり、お一人で福知山城などで甲冑を纏って観光ガイドを始められたそうです。今では、多くの仲間と夢を共有して楽しく活動できることにとっても嬉しそう。



楽しく、おもしろく、出演していきたい

このたび、福知山出身の若者グループが、福知山の

自然や歴史を題材にした映画を作成することになり、数名の会員が出演されることになりました。今回の取材当日は、撮影に向けての練習日でした。刀を手に戦のシーンを入念に練習され、斬ったり倒れたり、戦国映画さながらの迫力ある場面に圧倒されました。



映画出演に向けて練習の一コマ

これまでの主な活動は、

福知山お城まつり、大江山酒呑童子まつり、福知山マラソンの応援などに出演されました。また、遠方では、亀岡や大阪でのまつりやイベントでの出演もあります。まちを賑やかに、おもしろくするために、観光ガイドをはじめ、さまざまなイベントに関わっていききたいそうです。

活動していて困ることが一つ。一度甲冑を身に纏うと座ることができず、何時間でも立ちっぱなしだとか。また、トイレにも行けず、食事も困難、といった苦労があるそうです。それでも活動できるのはやはり「楽しいし、大好きだから」だとか。

将来は会員数を1000人に増やして、まちを甲冑武将であふれさせたい。また、女性にも加わってもらって華やかさを添えて欲しい、と夢は大きい。福知山を賑やかにするために、まずは自分が好きなことを思いっきり楽しく行動を、と活動する姿に感銘を受けた取材でした。これからの活躍がとても楽しみです。



左から谷口守議員、隊長の寺本吉勝さん、森下賢司議員

### 編集後記

東日本大震災から2年が経過、改めて被災された皆様にお見舞い申し上げます。一日も早い復興を心からお祈りいたします。

3月24日に夜久野地域の精華・育英・明正3小学校の閉校式が行われ、式典には、地域住民の方々や、卒業生OBとして在校生が出席し、思い出が詰まった学び舎に別れを告げました。桜が満開となった4月から、新たに小中一貫校として夜久野学園がスタートしました。未来の宝である子どもたちを地域ぐるみで大切に育てていきたいと思えます。

これからも、市民の皆様にご意見を伺って、議会活動をわかりやすくお伝えするため、親しみやすい紙面づくりに取り組んでまいります。今後とも、議会だよりをよろしくお願ひ申し上げます。